

及び休日窓口については、渋川市のみが金曜日19:00までと、3月末と4月の第1日曜日に開庁し、住民票など証明書の発行を行っています。新市では、住民のみ皆さんの利便性向上を図るため、渋川市の例によることとしました。

**保健衛生事業**



**調整方針**

- 1 成人検診事業については、新市において調整し、統一的に実施する。
- 2 母子保健事業については、新市において調整し、統一的に実施する。
- 3 救急医療対策事業については、現行のとおり新市に引き継ぐ。
- 4 保健福祉センター施設の管理・運営については、現行のとおりとし、新市において状況をみながら随時調整する。

成人検診（基本検診やがん検診など）や母子保健事業（妊婦健康診査や乳幼児健康診査など）は、種類によって対象者や自己負担額、実施回数などが異なりますが、みなさんの健康管理・健康増進の一助となるよう新市において統一的に実施できるよう調整します。

**「農業委員会の委員の定数及び任期」に係る協議方法**

**調整方針**

「農業委員会の委員の定数及び任期の取扱いに関すること」については、「農業委員会の委員の定数等に関する小委員会」に付託する。

農業委員会の委員についても議会の議員と同様に小委員会を設けて協議することとなりました。委員構成は次のとおりです。

職名	氏名	備考	職名	氏名	備考
委員長	小林 雅夫	渋川市議会議員	委員	千明三右衛門	伊香保町学識経験者
副委員長	兵藤 吉弘	赤城村学識経験者		村上 嶋男	小野上村 "
委員	高橋 寿男	伊香保町議会議員		小野 こと	小野上村 "
	平方 由衛	小野上村 "		飯塚 重雄	子持村 "
	山下 重夫	子持村 "		小澤 一二	子持村 "
	狩野 富雄	赤城村 "		木暮 政光	赤城村 "
	狩野 義雄	北橋村 "		萩原 吉久	北橋村 "
	町田 久	渋川市学識経験者		小泉 隆雄	北橋村 "
	飯野 照男	渋川市 "		小野宇三郎	共通 "
	山口源一郎	伊香保町 "			

今後、①新市にいくつの農業委員会を置くか。（市の区域面積が24,000haを越えると2つ以上の委員会を置くことができるため）②在任特例を適用するか③新市の委員会の定数 ④選挙区を設置するか（設置する場合はその数と区域）などについて小委員会で検討し、協議会で決定します。

**小委員会情報**

議会小委員会……第2回会議が3月23日に開催され、各委員から活発な意見が出されました。次回は、4月13日開催予定です。  
農委小委員会……次回会議は4月14日開催予定です。

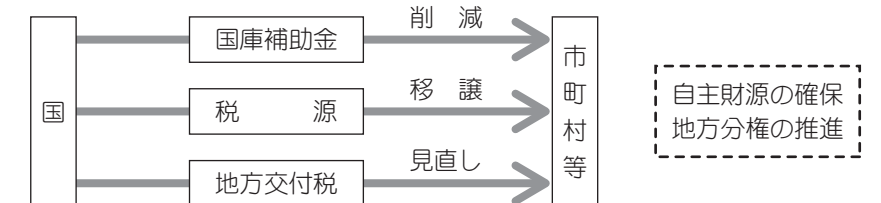
**『合併学習室』**

**□三位一体改革と市町村合併**

三位一体改革ってな 「三位一体」……もともとは、キリスト教の根本教理の1つで、「父なる神」と「子なるキリスト」「聖霊である神」は、等質不可分であるとする説のことです。

転じて「3つのものが1つの物の3つの側面であること」また、「3者が心を合わせること」を指すようになりました。

いま盛んに新聞を賑やかしている三位一体改革は、地方分権を実現するために「地方への補助金の削減」「国から地方への税源移譲」「地方交付税の見直し」の3つを同時に行うことを指します。



**□各市町村の平成16年度予算**

		渋川市	伊香保町	小野上村	子持村	赤城村	北橋村	合計
①予算額	H16	17,397,000	2,285,000	1,530,000	4,100,000	5,498,000	3,220,000	34,030,000
	対前年	359,000	△466,000	△40,000	120,000	△146,000	△310,000	△483,000
	%	2.1	△16.9	△2.5	3.0	△2.6	△8.8	△1.4
②地方税	H16	6,671,686	1,008,475	176,554	892,646	993,881	853,212	10,596,454
	対前年	△168,756	△17,791	△4,688	△39,246	△27,782	11,437	△246,826
	%	△2.5	△1.7	△2.6	△4.2	△2.7	1.4	△2.3
③地方交付税	H16	2,485,000	400,000	745,000	1,480,000	1,820,000	1,120,000	8,050,000
	対前年	△65,000	△110,000	△33,000	△83,000	△260,000	△140,000	△691,000
	%	△2.5	△21.6	△4.2	△5.3	△12.5	△11.1	△7.9
④国庫支出金	H16	1,357,828	49,579	61,253	370,380	227,526	89,918	2,156,484
	対前年	△25,063	△16,991	10,985	9,923	87,360	△38,760	27,454
	%	△1.8	△25.5	21.9	2.8	62.3	△30.1	1.3
⑤繰入金	H16	592,072	260,003	126,904	118,281	717,700	113,534	1,928,494
	対前年	56,196	△301,808	6,823	92,115	99,600	△52,669	△99,743
	%	10.5	△53.7	5.7	352.0	16.1	△31.7	△4.9
⑥起債	H16	2,110,500 (1,310,300)	222,500 (145,300)	200,300 (172,400)	456,400 (301,100)	571,600 (571,600)	446,000 (303,200)	4,007,300 (2,803,900)
	対前年	598,900 (△201,300)	30,000 (△47,200)	△4,900 (△32,800)	110,200 (△45,100)	△12,800 (△12,800)	△14,000 (△156,800)	707,400 (△496,000)
	%	39.6 (△13.3)	15.6 (△24.5)	△2.4 (△16.0)	31.8 (△13.0)	△2.2 (△2.2)	△3.0 (△34.1)	21.4 (△15.0)
⑦所得譲与税		81,000	6,500	3,581	10,000	20,000	15,170	136,251

※⑥起債中（ ）書きは、借換債を除いた数値

三位一体の改革を受け、各市町村とも厳しい予算編成を迫られていますが、主な歳入等を項目別に見てみると

①予算額 渋川市と子持村で昨年度当初予算に比較して増加していますが、これは平成7年度、8年度に発行した減税補てん債を一度返済し、新たに借金をする